



社会福祉法人武蔵野会 きね川福祉作業所 広報誌

第37号

発行日 2019. 09. 2

ゆいかもめ

～自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ～



【もくじ】

表紙 (葛飾区警察署表敬訪問)	1
施設長のつぶやき 武蔵野会セミナー	2
宿泊旅行 (サファリパーク、 河口湖、芦ノ湖、大涌谷等)	3
夏季期間行事 夏休み工作教室	4
葛飾法人会婦人部会施設訪問 地区専門研修 お花茶屋ふるさとまつり	5
みんなのページ 今後の予定	6

葛飾警察署敬訪問(本人活動)

今年度のGENKIまつり

令和元年

9月28日(土)

上記の日程に決定しました。皆様に楽しんで頂けるように準備を進めています。たくさんのご来場心よりお待ちしております！

発行

社会福祉法人武蔵野会

きね川福祉作業所

施設長 大和田 卓

東京都葛飾区東四つ木3-8-10

電話 03(3694)1577

FAX 03(5698)1757

E-mail: Kinegawa2939@coda.ocn.ne.jp

<http://www.yurikamome.info/>

施設長のつぶやき

施設長 大和田 卓

30年前に元官房長官の小渕さんの「平成」と書かれた墨書の額を掲げたテレビ画像が「昭和」の時代の幕を閉じたという寂しさを感じさせたのは、昨日のことのようです。あっという間に「平成」から「令和」の時代に入った感があります。もちろん新時代の到来に期待していますが、間近に迫った消費税10%の増税やこの財源が障害者関連の社会保障費には回ってこないだろうという諦念。高齢・少子化による福祉人材確保の困難性など頭が痛いところです。しかし、愚痴をこぼしているだけでは、世の中は良くなるのは誰でもわかっていることです。

去る6月21日（木）に武蔵野会では、京王プラザ八王子で職員の永年勤続表彰式を開催しました。対象者は勤続10年が30名、勤続20年が12名、勤続30年が2名です。きね川福祉作業所からも2名が10年勤続、1名が20年勤続で表彰されました。高橋理事長からは副賞と共に表彰状が授与され、利用者さんのご家族や理事、施設長等から日頃の仕事に対する感謝や後輩へのますますの指導などの期待のことが寄せられ、お祝いの会食が行われました。同表彰式は、毎年開催され、家族の状況や自身の健康上の状況で退職せざるを得ない職員もいる中で、日々の利用者支援でゆらぎながらも続けて福祉の仕事に精励している職員が大勢いることに私自身も励まされたところです。

職員が長く勤めていくことは必要ですが、それだけでは、施設内老老介護になりかねません。若い人材が入ってこなければ、利用者支援の担い手が減っていくことは誰の目にも明らかです。どんな優秀な職員でも、2人分の働きはできません。物の生産現場では、例えば、今まで4本のボルトで固定していた部品を3本で固定して、コストカットすることはできます。しかし、福祉現場の支援では、一日4回の排泄介助を3回にするということとはできません。支援の効率化は手抜きにつながるものが往々にしてあります。職員数を減らす訳にはいきません。福祉人材の確保は、住みやすい地域社会のために重要です。そのためには、福祉人材の育成を子どもの頃から行えば、将来の人材確保に有用です。

日本福祉大の原田正樹先生は、子どもの時からの福祉教育は重要といいます。障害者の負の部分だけを伝えるだけでは、正確に何をサポートすれば良いか正確に伝わらないということです。例えば、視覚障害者が包丁を使ったリンゴの皮むきを見せて、毎日の食事料理しているなどの話を聞くと、自分のお母さんと同じだと感じる。しかし、行ったことのない所には白杖を使っても行けないなどのサポートが必要な部分も話してもらうことによってできることとできないことが明確になって、何をすれば良いかがわかってくるということです。この点が重要であるといいます。子どもの頃からの情緒的な理解が共感につながるということでしょうか。私たちの福祉施設も、地域の子どもが気軽にできる実習や体験を積極的に受け入れたり、職員が小学校へに出向いて話をするなどにより、将来の福祉現場職員の育成をすること、そしてそれらを推進していくことも私たち職員の役目だと思います。



武蔵野会セミナー

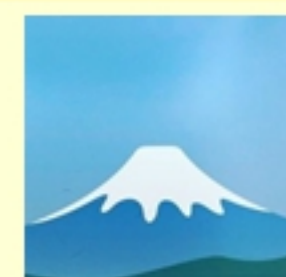
今年度は6月29日（土）にイイノホールにて「優生思想と人権擁護」をテーマに武蔵野会セミナーが415名の参加者を迎え開催されました。基調講演では日本障害者協議会代表の藤井克徳氏により、第二次世界大戦中のドイツで起きた障害者の強制隔離と虐殺が、その後のユダヤ人虐殺につながった凄惨な歴史を紹介されました。また、里親広場ほいっぷグループ代表の小林洋子氏は「ぶどうの木」でテレビドラマ化された里子養育の経験を語りました。養護施設から引き取った子ども達が抱える差別や生きづらさと親子で向かい合う姿は、里親の枠を超えて家族のあり方や人権についてより深く考えさせられる機会となりました。（林）



ゆいかもめ



宿泊旅行



今年度の宿泊旅行も2班に分かれ（5月17日～18日、5月31～6月1日）初日にサファリパーク、富士河口湖畔の旅館に泊まり、2日目に芦ノ湖湖畔、大涌谷を巡ってきました。1班と2班の日程の間に大涌谷で噴火警報のレベルが上がったため、2班は急遽コースを変更し、芦ノ湖の遊覧船となりました。サファリパークでは富士山を背景に野生のライオン、象、キリンを観光バスに乗車したまま間近に見たり、ライオンの赤ちゃんへの哺乳をタイミングよく見学することが出来て皆さんで楽しんで頂けたようです。



夜は宿で温泉と懐石料理を堪能した後、宴会はカラオケ大会で盛り上がりました。翌朝は富士山を眺めながら河口湖湖畔を散策したり、朝風呂に入るなど、みなさん宿泊を満喫されているようでした。2日目の1班は大涌谷を巡り、火山口付近の雄大な黒たまご等のお土産を購入しました。2班は芦ノ湖湖畔の遊覧船に乗り、静かな乗り心地や爽やかな湖畔の風を楽しまれていました。（林）

ゆいかもめ

夏季期間行事

8月14日（水）に作業活動を1日お休みし、毎年恒例の夏季期間行事を行いました。実行委員の利

用者さんと企画内容の話し合いをし、カラオケのホール予約、調理活動の材料の買い出しやタウンミーティングでの告知も行いました。皆が楽しめるDVDはどのようなものだろうと意見を出し合い新たなDVDも購入しました。

所内ではゲーム、ライブDVD、映画鑑賞を楽しみました。東四つ木地区センターのホールを借りてのカラオケは皆さん舞台に上がり、好きな歌を披露されていました。また、調理活動も行いワッフル、フルーチェを使いミニパフェを作りました。ワッフルを焼く方、フルーチェを作る方と皆さんで役割分担し、小さなカップに思い思いに盛り付けをし、夏らしいパフェが完成しました。完成したパフェを召し上がり皆さん「おいしい」とおっしゃっていました。今年度は1日の実施となりましたが、暑さの厳しい中、所内作業や公園清掃を頑張って下さっている皆さんにゆっくりと過ごしていただきました。（堀田）



夏休み工作教室



8月24日（土）に毎年恒例の夏休みこども工作教室を実施しました。当日は7名のお子さん
と4名の保護者の方、お茶の水女子大学からボランティアとして2名の学生が参加してくださ
いました。スノードームやミニチュアかき氷、玉ころがしゲームを作りました。皆さんそれぞ
れこだわりを持って作品作りしている様子が印象的でした。

この活動は、きね川福祉作業所が地域の皆様に親しみをもってもらえるように、また福祉施設として地域に貢献できるようにとはじめました。今年で5年目、毎年参加して下さるお子さんがおり、職員も名前から顔が浮かぶようになりました。続けることの大切さを実感しています。今年は開催案内の方法を簡素化したせいか、参加者が例年より少なめでした。来年も新たな作品を工夫していきます。多数の方のご参加をお待ちしております。（大堀）



葛飾法人会 女性部会施設訪問

6月25日（火）に公益社団法人葛飾法人会の女性部会の皆様による施設訪問がありました。作業所の活動内容や法人の説明のほか、利用者の作業風景を実際に見ていただきました。皆さんの熱心な眼差しに対して、利用者の皆さんは緊張した面持ちだったり、普段より力の入った様子で頑張って作業を行っていました。

また、葛飾法人会女性部会の皆様から寄付としてCDラジカセ2台、沢山の手拭いタオルを頂くことになり、簡単ではありましたが、贈呈式を行い自治会役員の利用者が作業所の代表として受け取りと挨拶を行いました。最後は皆さんと一緒に記念写真を撮りました。

寄付で頂いたCDラジカセや手拭いタオルは、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。（臼田）



地区専門研修

～地域生活支援について～ 原町成年寮 笹生寮長講話



7月9日（火）東堀切くすのき園で葛飾地区専門研修が開催され、社会福祉法人原町成年寮の笹生寮長の講話を拝聴しました。

地域に根差した地域生活支援のあり方について、入所施設という形を取らず、利用者の生活を支援するという方向性のもと、永年にわたり葛飾を中心に実践されてきた笹生寮長のお話は大変興味深いものでした。原町成年寮の歴史や取り組みなどから利用者支援で既存していないもの、不足しているものは自分達で作って形にしていくという姿勢を知り、地域生活支援の先駆的な活動をされていると感じました。

地域共生社会の実現のあり方が模索されている中、私たち武蔵野会職員として利用者ニーズ、地域の課題などを踏まえてどのように行動していけばよいのか、今後の利用者の居住支援などのいいヒントを頂けたと共に大いに刺激を受けた研修でした。（臼田）

お花茶屋ふるさと祭り



8月1日～3日、お花茶屋ふるさと祭りが、開催されました。約50年前に始まったお祭りは、当時の町会の役員が、「近隣の子供達が、夏らしい模擬店で楽しむ企画を提供しよう。露天商に一切頼らずに町会住民が協力して、企画・運営しよう」と正に手作りで始まったと聞いております。現在は、協力団体も町会に加え、葛飾区、東京都と関係機関も加わり、会場公園の足元も見えないくらいの来場者を迎える大きなイベントになりました。武蔵野会も実行委員会から声を掛けて頂き、参加が約20年になります。おかげさまで、地域の方々や元気な子ども達と交流するととても有意義な機会になっています。開催の3日間は、武蔵野会葛飾地区の東堀切くすのき園が中心となり、同地区の西水元あやめ園・白鳥福祉館・きね川福祉作業所から、各日10名程度の職員が、ボランティア参加しております。今年は、磯辺焼きを販売しました。3日間共に早い時間に完売となりました。お買い上げ頂いた方々、ありがとうございました。来年も同日程での開催です。ご都合がよろしければ、是非足をお運び下さい。（稲留）





みんなのページとは利用者さんが担当するコーナーです。

かりんとう饅頭販売



作業所で生産したかりんとう饅頭を葛飾区役所内で店頭販売を行いました。実際に販売した岩上さんに感想を書いてもらいました。



岩上さん：6月19日に区役所販売に行きました。かりんとう饅頭を売りました。知り合いの人に会いました。完売はしませんでした。一生懸命説明をしました。みなさんから「また売りに来てください」と要望がありました。これからも一生懸命頑張ります。



また、主におつりを担当した高野さんには編集員の渡辺さんがインタビューしました。

渡辺さん：まんじゅうは何個売れましたか？

高野さん：5個から10個くらい売れました。いろいろな人がたくさん買っていきました。

渡辺さん：おつりは正確に渡せましたか？

高野さん：間違えないで出来ました。何個かは残ってしまいましたが、頑張って売ることができました。



今後の予定



9月

- 2日 ウィメンズパル販売会
- 4日 ウェルピア出張販売
- 20日 タウンミーティング
- 28日 GENKIまつり

10月

- 1日 ウィメンズパル販売会
- 16日 ウェルピア出張販売
- 18日 利用者自治会大会
(自治会役員選挙)

11月

- 1日 ウィメンズパル販売会
- 3日 ゴミ減量フェア
- 15日 タウンミーティング
- 17日 ボランティアまつり
- 20日 ウェルピア出張販売

※太字自主生産販売

ボランティアを募集しています！

年間を通して作業のお手伝い（軽作業・公園清掃）や、クラブ活動の補助（スポーツ・音楽・創作）、または行事（外出、旅行お祭り等）のお手伝いをして頂けるボランティアを募集しています。曜日や時間帯、活動内容等でご希望がありましたら、お気軽にご相談下さい。（担当：大堀、早川）

編集後記

令和がスタートして早3ヶ月が過ぎました。残暑の厳しい日が続きますが、暑さにめげず新元号に相応しいフレッシュな作業所の情報を発信していきたいと思います。
(H・I・H)



後援会ご協力のお願い

社会福祉法人武蔵野会が経営する26施設の利用者のためによりよい環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力お願い申し上げます。

武蔵野会後援会事務局

〒192-0083 東京都八王子市旭町12-4

日本生命八王子ビル2階201
電話 042-631-6341